

うるかむ

WELCOME YAMAGATA COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- 一面/吟醸酒「甦る」試飲会と能登半島地震 現状報告会/春の恵み～山菜～
- From山形 みやぎ・きずなFプロジェクト
- ココロとカラダとお金のメイクバランス
- みんなの声/しあわせココロのつくりかた(138)
- ある春のための上映会in山形/ITお助けコラム
- おすすめ情報
- 旬なお野菜&くだもの通信
- 団体紹介/日本司法支援センター 法テラス ●編集部より



第167号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた

TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数:2100部



吟醸酒「甦る」試飲会と能登半島地震 現状報告会

3月10日(日)に長井市の中央会館にて、きびたき長井甦るの会主催で、吟醸酒「甦る」試飲会と報告会が開催されました。

第一部では鈴木酒造の鈴木大介社長より能登半島地震の支援活動について報告がありました。大介さんは元日に起きた能登半島地震の一報を聞き、自分達も東日本大震災の時には多くの助けを頂いたことがあり、ひとごととは思えず、すぐに支援に駆け付けました。1月4日には輪島市にある、ご後輩の蔵元に連絡を取り、燃料や食料などを携え現地へ向かい、渋滞や崩落がひどかったものの、何とか到着し、ご本人と無事お会いできました。

その後、1月14日に再び輪島市を訪れましたが、ご後輩の酒蔵では、仕込み用のタンクが破損し、原料となるモロミ液が流失していました。同じ酒造りをする者として、見るのも辛かったため、持参した移動用のタンクにモロミ液を移し、羽咋市にある知り合いの酒蔵に



届け、預かってもらうなど応急的な支援を行いました。大介さんが語った「酒は人の思いをつなぐもの、生き返ってほしい」との言葉が印象に残りました。また、鈴木酒造では売り上げの一部を義援金として寄付。今後も復興の支援を続けていくそうです。

第二部の試飲会では、会の共同代表の村田さんが「吟醸酒『甦る』は、市民の方々と避難された方々が協力して酒米づくりをし、今年もおいしいお酒になった。皆さんで味わってほしい」とあいさつされました。また、吟醸酒「甦る」を通して、避難された方々と支援者の活動をまとめたミュージックビデオを鑑賞し、3名のアーティ



ストによるライブ演奏を楽しみました。

【お問合せ】
きびたき長井甦るの会
TEL:090-3645-6745

春の恵み 山菜



山菜の季節になりました。山形は、わらび・ぜんまい・たらの芽など、多彩な山菜の宝庫です。自分で採りに行かれる方も多いのではないのでしょうか。山菜採りはマナーを守って楽しみましょう。

- 山菜は傷めず、根こそぎ採らない
- 採り過ぎない
- 確実に知っている山菜を採る
- 採っていい場所か確認する
- ゴミは必ず持ち帰る
- 山へは2人以上で入る

山菜採りのマナー



県内には多くのわらび園があります。春の味覚を楽しんでみませんか?

山形県のわらび園情報はこちら→



〈山形県山菜・きのこ振興会HP〉

Fromやまがた

みやぎ・きずなFプロジェクト

3月3日(日)に山形市立図書館主催の市民講座「いのちがまんなか震災を語り伝える若者たち」が開催されました。講師には宮城県のきずなFプロジェクトの皆さんを迎え、約30名の参加者が震災を振り返り、防災の知識を深めました。

きずなFプロジェクトは、平成28年3月に宮城県七ヶ浜町立向洋中学校の当時中学1年生有志20名が結成した団体が母体で、現在、中学生から大学生まで約30名が在籍。全国各地で出前授業を行っています。

「F」はふるさと、復興、フューチャー(未来)の頭文字です。

顧問の瀬成田先生は、生徒達が語り部になるまでの心の変化を語る中で、「悲しみの共有が語る第一歩」と伝えました。その後、震災で肉親を失った



双子姉妹の実体験をもとに作成した紙芝居「みゆうとゆうみ」を山形県内初披露。セリフは幼稚園版、小学校版があり、子供達が理解しやすいよう表現され、ワークショップ「非常用持ち出し袋の中身を考えよう」ではお子さんも楽しんで参加する様子が見られました。

講座の途中「話を聞いてつらくなったら、我慢しないで下さい。」と参加者を気遣う場面もあり、メンバーからは「今日の事を周りの方へ伝えて下さい。皆さんが語り部になります。」と伝承への力強いメッセージをいただきました。紙芝居は絵本として市立図書館で貸出ししておりますので、是非来館ください。

【お問合せ】
山形市立図書館本館 TEL:023-624-0822

寄稿



新年度が始まりましたね。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

さて、近年目立ってきている闇バイト。インターネット上での募集のみならず、知人から誘われて手染めるパターンもあるようです。「闇」バイトとも言い切れない、グレーゾーンのバイトもあります。最初はグレーゾーンでも、徐々に、「もつと割の良いバイトがある」などと言葉巧みに、あるいは、脅し半分に犯罪に引きずり込まれていきます。また、高級ブランド品を正規店で購入させるバイトというものなどもあります。購入代金の他に、高額のバイト代が入るわけですが、雇い主側は転売のルートを持っているということになるので、果たして安全なバイトなのかは疑問です。最近では、転売が発覚したら、その顧客にはもう販売しないという措置をとるブランドも出てきています。

「簡単」なのに「高額報酬」なのは必ず裏があります。知らないうちに犯罪に手を染めることのないよう気をつけたいですね。



ファイナンシャルプランナー/心理カウンセラー 庄司 あきこ
E-mail:info@therapist4everyone.com

3. 11メッセージ

2024年3月11日、
東日本大震災から13年を迎えキャンドルナイト
「追悼・復興への祈り」が
文翔館にて行われました。
来場した方からのメッセージをご紹介します。
(一部掲載)

今年は、一羽も野鳥が庭に来ません。来るのは、
カラスだけ。少し寂しい気がします。

今年は、元旦の地震から始まり、13年前を思
い出し涙が出ました。あたり前がどれだけ幸せ
か身にしみます。

(南相馬市→酒田市/女性60代)

あれから13年経ちます。

経験のない子ども達にもどう伝えていくのか、
大人たちの大切な課題です。

(山形市)

当時3歳でしたが、よく覚えて
います。次の世代にも語りつな
いでいきたいです。

(東京都)

地震列島に住んでいる我ら日本人にはみな他人
事(ひとごと)ではない。いずれ来る災害に備える
心構えはもちろん、災害にあっても、受け入れ、
再び立ち上がる日本人の気質を感じます。

(寒河江市)

きっと大丈夫!(海外)

復興に期限はない
忘れないでいつまでも

(仙台市)

一瞬で沢山大切なものを
失った皆さん、どこにいても
皆さんの頑張りを見て応援
する人はいます。小さいこと
かもしれませんが何かお手
伝いしたいです。

(山形市)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

あの人に伝えたい一言や、最近思う事、今の暮らしの中のつぶやき
などを募集しています。
はがき、又はメールでお送りください。みなさまからの投稿、
お待ちしております!

おまちして
ますにゃ



人は誰も、自分以外の身近な人との関わりによって、人間性が作られていきます。
持って生まれた性質に、環境要因が大きく影響して、自分という存在が作られていくのでしょう。
それをそのまま放置していくと、なりたかった私から離れた私が作り上げられているような気がします。
振り返ってみて、あの時こうすれば良かったと思うことが多い人は、
自分の人生の舵を他者に譲り渡してしまいがちだったのかもしれませんが。
自分の意思が軸でなければ、自己肯定感が低く、
常に不幸を身に纏う思考を持った人になりやすいのです。
「苦しみを誰かのせいにはしないこと」「問題が生まれる前から不安にならないこと」「ネガティブな
思考の虜になってしまったら、自然の中に身を置くこと」「大きな声で笑う時間を作ること」
そんな小さなことから意識を変えて行動していきましょう。
幸せを見つけることが上手な心を育てていけるようになると、自ずと自信もついてきますよ。

Fromやまがた

あゝ春のための上映会 in 山形

3月3日(日)に山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー試写室にて震災映画の上映会と、二人の監督によるゲストトークが開催されました。

上映会では、東日本大震災直後の石巻市大川地区を舞台にした劇映画「春をかさねて」(2019年/佐藤そのみ監督)、および、震災時の大川小学校にまつわるドキュメンタリー「あなたの瞳に話せたら」(2019年/佐藤そのみ監督)、そして、震災後に陸前高田災害FMでパーソナリティを務めた女性を親密な距離で綴った「空に聞く」(2018年/小森はるか監督)の3本が上映されました。

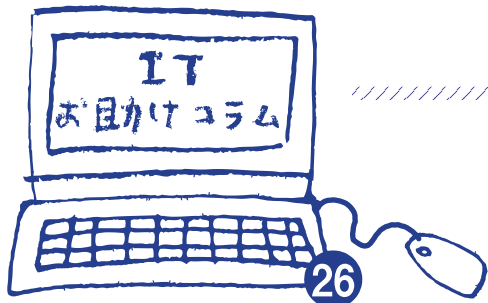
佐藤監督は石巻市出身で、震災により石巻市大川小学校に通っていた妹さんを亡くされ、日本大学芸術学部映画学科在学中に、自身の体験を元に制作されました。上映することにためらいがあったそうですが、小森監督と知り合い、映画を見ても良かったことが後押しとなり、昨年は全国22か所の上映につながりました。

小森監督は静岡県出身で2011年以降、東北各地で作品制作を続け、昨年は山形国際ドキュメンタリー映画祭で、復興公営住宅を舞台にした映画「ラジオ下神白」が上映されました。現在は新潟県在住で、次回作への抱負なども語っていただきました。

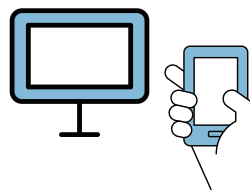


【お問合せ】

認定NPO法人
山形国際ドキュメンタリー映画祭
TEL:023-666-4480



スマートテレビ



テレビを買い替える際、若い世代を中心に、スマートテレビを選ぶ人が増えているようです。スマートテレビとは、スマートフォンと同じAndroidのテレビ専用OS「Android TV」が搭載されたもので、インターネットに接続しYouTubeやTVer、Amazon Prime Videoなどの動画配信サービスを見ることができます。また、Google Playのアプリストアからさまざまなアプリをインストールすることもできます。ブラウザ・アプリを利用すれば、サイトやX(旧Twitter)なども、すでに持っているIDでログインして見ることができます。

「リアルタイムでテレビを観る時間がなく、スマホでNetflixなどを見ているので、大きな画面で見られるようにしたい」とスマートテレビに買い替えた人もいます。ネット環境によって動画の読み込みが遅くなるなど

のデメリットもあるようですが、テレビ買い替えの際は、スマートテレビも選択肢に入れてみるのもよいですね。

※スマートテレビのメーカーや搭載OSの種類によって、利用できるサービスや機能が異なります。
※サービスを利用するにはインターネット接続が必要です。

(文/岩沢暢子)

質問を受け付けます!

【お問合せ】
NPO法人Yamagata1
E-mail:mail@yamagata1.org

メールで質問を受け付けますので、お気軽にお寄せください。

おすすめ情報

令和6年度 福島県奨学資金《震災特例採用》奨学生募集案内

福島県教育委員会では、原子力災害被災地域において被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援するため、福島県奨学資金《震災特例採用》の奨学生を募集します。

対象者 ※1年生以外の方も申込可能です。

- ・高等学校(特別支援学校の高等部含む。以下同じ)、又は修業年限2年以上の専修学校(高等課程でかつ福島県教育委員会が定める専修学校に限る。以下同じ)の生徒
- ・福島県内の高等学校、専修学校に在学する者については、福島県内に6ヶ月以上住所を有していること
- ・福島県外の高等学校、専修学校に在学する者については、震災時に生徒本人が福島県内に住所を有し、かつ保護者は福島県内に6ヶ月以上住所を有していること
- ・原子力災害被災地において被災し、下記①②のいずれかの事由により修学が困難で、生徒の生計を主として維持する方の所得金額が所得基準額以下(※)であること

- ①警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
- ②緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合

※所得金額：1年間の総収入金額から必要経費及び、特別控除額を差し引いた金額

詳細は福島県教育庁高校教育課へご確認下さい。

貸与月額

	自宅通学	自宅外通学
国公立	18,000円	23,000円
私立	30,000円	35,000円

※保護者と同居の場合は自宅通学扱い

貸与期間

令和6年4月～令和7年3月まで

貸与方法

採用決定後、年2回(令和6年9月末と令和7年1月末の予定)に分けて奨学生本人の口座に振り込み

利子

無利子

保証人

連帯保証人1名(原則親権者)

返還

- ・卒業から6ヶ月経過後より半年払いで20年以内に返還(納期限までに返還されなかった場合は年10%の延滞利息が発生します。)
- ・ただし、卒業後の奨学生本人の年収(見込)が300万円以下の場合は出願により、最大5年間まで返還を猶予することができます。
- ・また、卒業から5年経過後も年収(見込)300万円以下の場合は出願により返還義務を免除します。

申込方法

在学する学校を通して行います

- ・申請に必要な書類を学校へ提出
- ・学校の推薦を得て申請へ
- ・学校より申請書類を福島県へ

申込締切

- ・学校への申込締切/各学校の指定する日
- ・学校から福島県教育委員会への提出締切

令和6年7月1日(月)必着

福島県教育委員会HP

詳しくはこちら→



【お問合せ】福島県教育庁高校教育課 TEL:024-521-7775

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)からのお知らせ

ADRセンターは個別の事情に応じて賠償の和解案を提示します

最近の和解成立案件をご紹介します(自主的避難等対象区域)

自主的避難等対象区域に居住していた申立人ら(子供及び妊婦以外)の中間指針第五次追補に基づく精神的損害の追加賠償について、直接請求手続及び前々件ADR手続における既払金により支払済みであるとの東京電力の主張を排斥し、1人あたり6万円が賠償されるなどした。



和解合計金額42万円
令和5年5月17日成立
公表番号1963

自主的避難等対象区域に居住していた申立人ら(父、母、事故時未就学の子2名)について、申立人父は仕事のため避難できず、申立人母が単独で子連れ避難し、仕事をしながら育児を行わなければならなかったことを考慮し、申立人母に、精神的損害として一時金3万円が賠償されるなどした。



和解合計金額315万円
令和5年6月16日成立
公表番号1972

自主的避難等対象区域に居住していた申立人について、原発事故の影響で通院先の病院において人工透析が受けられなくなって、急遽、埼玉県へ避難し、そこで透析治療を受けながらの避難生活を余儀なくされたことを考慮し、精神的損害についての慰謝料として、中間指針第五次追補の目安額を踏まえた金額及び30万円の増額分(いずれも既払金を控除)が認められるとともに、帰還のための引越費用が認められた。

和解合計金額50万円
令和5年5月22日成立
公表番号1965



ADR手続の主な流れ

和解事例は、あくまで申立人の個別事情に基づいて和解した例であり、一般的に適用できる基準ではありませんが、ご自身の事例について検討するにあたっての参考となります。

◆お問い合わせ窓口/文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター TEL 0120-377-155 (平日午前10時～午後5時)



旬なお野菜&くだもの通信

今回は「雪うり」をご紹介します。

葉の部分が黄緑色、茎は白が鮮やかな「うり」は、大葉擬宝珠(オオバギボウシ)という植物の若葉をいいます。日本では古くから山菜として食されています。

うりは、クセがなく、軽いぬめりがあり、食べやすく、雪の多い地域での冬春の作物として早春を伝えてくれる山菜の1つです。お浸しや煮びたし、和え物、味噌汁、天ぷらなどに美味しいです。

最上地域では、うりと同じ促成栽培でも、光を遮断することで、白さと柔らかさを強調した「雪うり」を生産しております。雪うりは、軟白栽培なのでやわらかでクセがなく、シャクシャクとしたやわらかな歯ざわりで、生で食べるのがおすすめです。ぜひご賞味ください。



その12 雪うり

野菜ソムリエ上級プロ・食育指導士

山口 美香

(株)グリーンショップはらだHP

<https://greenshop-harada.com/company/>



団体紹介

日本司法支援センター 法テラス



法テラスは、借金やご家庭の問題などを解決するために相談窓口を設けています。「相談費用が心配…」「こんな事相談できるのかな?」とご心配の方は、まずは法テラスへご相談ください。解決に役立つ情報をご案内します。

【お問合せ】

〒990-0042 山形市七日町2-7-10
NANABEANS 8階
TEL:0570-078381

法律上のトラブルで困ったら…

法テラスサポートダイヤル

受付時間

おなやみなし
0570-078374

平日/午前9時～午後9時
土曜/午前9時～午後5時

相談事例

- お金の問題
 - 労働の問題
 - 相続の問題
 - 生活上のトラブルなど
- お悩みを整理し、適切な相談窓口をご案内します。
 - 法律の手続き、わからないコトバの解説をします。
 - 収入等が少ない方を対象にした弁護士等による無料法律相談をご案内します。



法テラスは
国によって作られた
公的な法人です



法テラス山形HP

うるかむダウンロードはこちらから <https://kizuna.yamagata1.jp>

編集部だより

みなさまからの情報をお寄せください!

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



次号は
2024年
5月15日
発行です

情報提供や寄稿は
5月1日まで
お寄せ下さい。
お待ちしております。

◆ようやく春を迎え、動きやすい季節になりましたね。悲しいかな、毎年の口癖になっているけど、今年こそ家の中の断捨離と小屋の片付けを頑張るぞ(結)

◆友人からフキノトウが届いた。どうして食べようか。天婦羅、味噌汁。母がよく作っていたフキノトウ味噌も美味しかったな。でも何度作ってもあの味がでないです。(安)

◆手ぬぐいが大好きで、つつい集めてしまいます。使うもよし、飾るもよし、ちょっとした贈り物にもよし。春柄は見ているだけで楽しいもの。端午の節句も手ぬぐいを飾ります。(茂)

◆花粉症歴26年。年齢と共に感覚が鈍くなってきているのか近年は穏やかに過ごせていたはずなのに!今年は寒暖差アレルギーから始まり、本格的な花粉症へ突入し、ツラさが長引いています…(泣。(森)

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元/つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山3丁目14番69号「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL.023-674-7311 FAX.023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp WEB <https://kizuna.yamagata1.jp/>

旧Twitter



facebook



<https://www.facebook.com/fvsc.yamagata>



<https://tsunagarou.net/>

「うるかむ」に掲載された今までの記事と、リアルタイムなおすすりめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。

